



Lloyd's Antiques 30th Anniversary

New FRAMES 19.Oct.(FRI) - 4.Nov.(SUN) 2018 at Lloyd's Antiques Aoyama

1988年の創業以来、〈ロイズ・アンティークス〉は、英国、北欧ヴィンテージ、そしてヨーロッパへとその裾野を広げながら、それぞれの国の美意識や文化によって磨かれてきたアンティーク家具を日本に紹介してきました。また時代の試練を乗り越えた家具だけが纏う特別な空気感や個別の物語をキュレーションに内包することで、アンティーク家具のある生活をスタイルへと昇華し、年代や様式美といった従来の枠組みとは異なるミックスカルチャーとして発信してきました。

2018年秋、30周年を迎えた〈ロイズ・アンティークス〉は、独自の価値観によって作りあげた文脈を進化させるだけでなく、これからの時代に求められるインテリアへの回答として、「New FRAMES」と題したエキシビションを旗艦店である「ロイズ・アンティークス 青山」で開催いたします。

本展のハイライトを飾るのは、私たちの原点である英国のクラシックアンティークと北欧ヴィンテージ、近年注目するイタリアンコンテンポラリーの銘品たち。そんなマスターピースをない混ぜし、インスタレーションというカタチで展示することで、新しいアイデアを提示するだけでなく、高揚感に満ちたアートギャラリーのような空間を「LINE-INC.」とのコラボレーションによって出現させます。

果たして、道具としての機能や佇まいだけでは語れないアンティーク家具の魅力とは何なのか？ 普遍性や永続性の先にある、誰も見たことのない地平を目指して。〈ロイズ・アンティークス〉の考える新しいフレームワークにどうぞご期待ください。

Item

ロイズ・アンティークスの30年の歴史の中で、ヨーロッパのアンティーク家具を通して、時代に合わせ自分たちが感じ、提案してきたそれぞれの国の美意識や文化から得られる唯一無二の格好良さ。これまで以上にハッと心を揺さぶるものや、そのものがあることで得られる幸福感を大切に、「Rare」をキーワードに、唯一無二のストーリーとスタイルのある商品をご提案していきます。本展では、現在ロイズが注目しているイタリアンコンテンポラリー家具を中心に、家具、照明、オブジェなど各地から届いたばかりのアイテムをご紹介します。



ティーカート

1950年代（推定） イタリア（推定）
W1020 D470 H700 180,000円（税抜）

1950年代にイタリアンモダンを牽引した Cesare Lacca デザインによるティーカート。艶消しされた真鍮の輝きやシルエットに見られるように、「Lacca のデザインは誇張なしに必要な装飾性を実現する」と評される。



サイドボード

1960年代（推定） イタリア（推定）
W2200 D450 H940 350,000円（税抜）

空目を引き立てるポリエステル塗装の光沢感が印象的なサイドボード。金属素材のヘアピンレッグにより、イタリアンアイテムらしい洗練さと軽さが実現された。



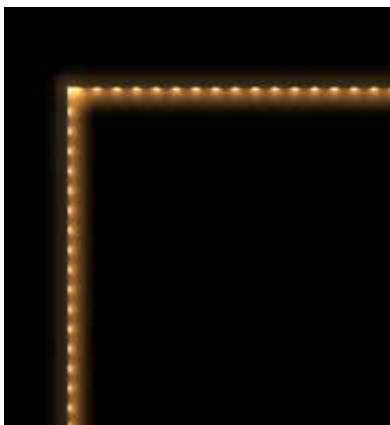
シェーズロング

1970年代（推定） イタリア（推定）
W600 D1600 H770 550,000円（税抜）

多くのレザーチェアやソファデザインを手掛けた Guido Faleschini によるシェーズロング。オリジナルの風合いを保つブラックレザーとクロムベースとのコントラストが際立つ。

Installation

空間構成は、インテリアデザインを軸に、建築からプロダクトまで手掛ける空間デザイン集団として国内外で活躍する LINE-INC. が担当。店内には、大小様々なサイズのフレームが設置され、高揚感に満ちたアートギャラリーのような空間に。ロイズが考える、現在、そして未来に向けた次なる "上質で豊かな暮らし" とは。フレームごとのテーマを設け、大小約12のスタイリングシーンを展開。フレームが装置となり来場者の想像力を誘発するような構成になります。



MESSAGE:

ロイズ・アンティークスで出会えるのは有名無名にこだわらず、独自の審美眼によって時代を超えて集められた、あらゆる時代に生み出された最上級で、そして丁寧に使われてきたが故の経年美を纏った家具たち。

触れるのもはばかれる、ARTPEACEのような存在にされる ANTIQUE もあるが、ロイズに集まる家具は、どれも圧倒的な品位と芸術性を放ちながらも、あくまでも家具＝日常で使うものであるという親近感が共存している。あらゆる時代の "暮らし" を切り取り、時代、そして未来に発信する。そんなロイズ・アンティークスの姿勢を、New FRAME というテーマにのせて空間に表現しました。

— LINE-INC. —

LINE-INC.

ドアノブから街の風景までデザインする。LINE-INC の業務領域は、ショップやオフィスなどのインテリアデザインを軸に、公共施設や集合住宅の建築設計から、照明機器や椅子などのプロダクトデザインまで、多岐に渡る。2002年の設立以来、手がけたプロジェクトは1000件を超え、それらの経験から得たノウハウ、柔軟性、多様性を最大の強みとし、国内外と幅広い活動を行う。 www.line-inc.co.jp

Event Outline

タイトル : New FRAMES
会期 : 2018年10月19日(金)～11月4日(日)
会場 : ロイズ・アンティークス 青山
住所 : 150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-1-30
tel. : 03-5413-3666
レセプション : 2018年10月26日(金) 18:30～21:00 (* INVITATION ONLY)

* CUELのハギワラトシコさんによるケータリングをご用意しております。

Profile

ロイズ・アンティークス

1988年創業、東京に1号店をオープン。英国アンティークを中心に、北欧、ヨーロッパへ視野を広げ、各国の美意識や文化によって磨かれたアンティーク家具を扱うインテリアショップとして、現在では全国10店舗を展開。ヨーロッパ各地の良質なアンティーク家具を買い付けから販売まですべて専属メンバーで行っています。英国の技術を継承した職人をはじめとする専属工房を有し、本場の質感を残した家具の修復にはじまり、徹底した品質管理のもと、高品質で長く使える家具を提供しています。ヨーロッパでは丁寧にリペアを行いながら、親から子へと代々家具を受け継いでいく習慣があるように、大切に扱われた家具はその家の伝統と格式を過去から現在、そして未来へと伝えていきます。アンティーク家具を通して、ヨーロッパの文化をお届けするとともに、このような精神も伝えていきたいと考えています。

<http://www.lloyds.co.jp>

Collaboration

Space Design : 勝田 隆夫 (LINE-INC.)
Photo : 高山 幸三 (TANK Co., Ltd.)
Graphic Design : 村田 錬 (Brown:Design)
Edit & Text : 柴田 隆寛 (Kichi)
Catering : ハギワラトシコ (CUEL)

Contact

GENERAL CONTACT :

株式会社ロイズ 久保 洋平
150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-1-30
tel. 03-5413-3665
<http://www.lloyds.co.jp>

PRESS CONTACT:

daily press 川村 美帆
153-0042 東京都目黒区青葉台 3-5-33
tel.03-6416 3201
mihokawamura@dailypress.org